



福井県港湾協会「第57回通常総会」が開催されました。

平成27年8月24日（月）、福井県港湾協会の「第57回通常総会」が敦賀市内で開催されました。

はじめに、会長の渚上隆信敦賀市長が、「敦賀港は国際フェリー、国際RORO船の日本海側拠点港であり、関西・中京地域とアジア経済圏をつなぐ拠点として一層発展することを期待しています。国の財政状況等が厳しい中、県内港湾のさらなる発展のため、最大限の努力をしていきます。」と挨拶されました。

本総会の開会にあたって、日本港湾協会の根本康王理事、当局の吉永宙司港湾空港部長及び福井県議会土木・警察常任委員会の畑孝幸委員長が祝辞を述べられました。その後、平成26年度の事業報告、平成27年度の事業計画（案）について審議し、承認されました。

また、敦賀セメント(株)中田洋和様と敦賀海陸運輸(株)井上豊様が港湾功労者として表彰されました。

総会に引き続き、「対岸地域の国際交流の状況と福井県港湾の今後の対応」と題して、（公財）環日本海経済研究所 特別研究員 三橋郁雄様による極東ロシア、中国の経済等の現況、これらの地域との交流を高めていく上での日本の取り組み方針、他港の事例から敦賀港・福井港の今後の対応等についての講演が行われました。



開会挨拶をする会長の渚上隆信敦賀市長



港湾功労者表彰の様子



祝辞を述べる吉永港湾空港部長



基調講演の様子